

福祉出前授業「手話ってなあに？」～聴覚障害者理解～

2月19日（水）鳥取小学校4年生



本校生徒が学習でお世話になっている「京丹後市聴覚言語障害者センター」の宮下さん・上辻さん・杉本さんに同行していただき出前授業を行いました。

まずは「福祉」ってどういうことだろう？と一緒に考えました。『聞こえない人』について知っていることを聞かせて」と尋ねると、さっと手を動かして手話らしき動作をする児童も何名かいました。

次に、ジェスチャーゲームで「聞こえなくても・言葉がなくても」伝わる事を体験し、手話がわからなくても伝えたいと思う気持ちがあれば通じることを実感。

さらに、「聞こえない人の言葉『手話』がほんの少しでもできればもっと仲良くなれるよ」と、聴覚障害のある宮下さん・上辻さんから手話で簡単なあいさつと自分の名前を覚えてもらいました。

そして児童からの質問に答える形で、聞こえない人が普段困っていることや、聞こえないことを補う生活の工夫などを聞かせていただきました。

最後に「手話や聞こえない人について関心を持つことが、聞こえない人にとって何よりうれしいこと・『福祉』はみんなが幸せな社会を私たちが作るための学習であること」を確認して授業を終わりました。